

第5回 多文化共生・社会的包摂プロジェクト

UNESCO CLUB, JAPAN UNIVERSITY OF ECONOMICS, KOBE
AND KOBE INTERNATIONAL COMMUNITY CENTRE

日本経済大学ユネスコクラブの有志は、9月6日から9月12日まで「フィリピンSDGs国際ボランティア」を企画し、実施しました。マニラ市とラグーナ州にてスラムに住む子供たちに対して、子ども食堂、国際理解教室、ペットボトル回収プロジェクトを実施しました。フィリピンでの活動の報告を現地からのオンライン中継も交えて行います。

フィリピン SDGs国際 ボランティア 報告会



【プログラム】

▶ 開会の挨拶

若林 美和子 (NPO法人大阪ユネスコ協会事務局長)

▶ フィリピンSDGs国際ボランティアの概要

- ・マニラ市トンド地区における国際ボランティア活動
- ・ラグーナ州サンタローザにおける貧困層の子供たちを対象にし国際ボランティア活動
- ユミカ・ラエ・レオニダ(フィリピン出身、City of Bacoor National High School)

▶ 研究発表

- ・フィリピンにおける経済発展と格差
中島央皓 (大阪出身、同志社大学1年)
- ・フィリピン・スラムにおける子どもたちの現金収入：ペットボトル回収の現状
レオニダ・ランザル・ラリオク (フィリピン出身、日本経済大学2年)
- ・フィリピンのスラムにおける教育の現状と課題
アラオス・レンズ・セデリク・ペレス (フィリピン出身、日本経済大学2年)
- ・フィリピンの文化的多様性
マケハマデクローウ ダレリジョン ワフオクローウィチ (ウズベキスタン出身、日本経済大学2年)
- ・フィリピンにおけるITを用いたボランティア活動の可能性 (English)
MICHAEL JAMES F. GNILO (フィリピン出身、Freelance Software QA and Software Project Manager, Malayan Colleges Laguna, Philippines)

▶ 総括

安井 裕司 (日本経済大学教授、日本経済大学ユネスコクラブ顧問)

▶ 閉会の言葉

奥田 守 (神戸ユネスコ協会理事)

問合せ：神戸国際コミュニティセンター (KICC)

TEL:078-742-8908 (平日10:00-17:00), E-mail:jigyoo@kicc.jp

当日の連絡先：078-742-8701 (KICC1F受付)

10/16(日)

9:30-11:00

▶ 場所 KICC新長田1F交流スペース

神戸国際コミュニティセンター (KICC)

神戸市長田区腕塚町5丁目3番1号 アスタくにつか1番館南棟1F

【交通機関】JR/地下鉄「新長田駅」徒歩8分

参加費：無料

募集人数：対面先着30名及びオンライン参加

オンライン申込者には申込後にZoomのURLをお送りします。

申込先：<https://forms.gle/dsMaVfwk1dNsT1ccA>

申込〆切：10/13(木) *定員になり次第締め切ります。

使用言語：日本語・英語 (通訳はありません)

主催：日本経済大学ユネスコクラブ、NPO法人大阪ユネスコ協会青年部、神戸ユネスコ協会青年部

協力：公益財団法人 神戸国際コミュニティセンター (KICC)



【対面参加者への感染症対策のお願い】受付時には検温と手指の消毒へのご協力をお願いします。/ イベント中は必ずマスクを着用して下さい。/ 感染状況によっては、開催の中止またはZoomのみの開催とさせていただきます。【ご連絡】本イベントの様子を撮影し、神戸市、KICCのホームページやSNSに掲載することがあります。/ キャンセルされる場合は、ご一報ください。

KICCは国際交流・多文化共生を進める神戸市の外郭団体です